



■ 地域における人づくり実践事例

中学生が会社を運営しています

引佐北部小中学校 模擬会社「きりやま」

浜松市北区引佐町四方浄 134-6
問合せ ☎ 053-528-3131



模擬会社「きりやま」販売会



「きりやま」自慢の商品自然薯

生徒が自分たちで考え会社を運営

引佐北部小中学校では、キャリア教育の一環として、地域の歴史、文化、産業等を教材にしながら、中学生が模擬会社「きりやま」を運営しています。「きりやま」は平成 20 年から経営され、11 年目を迎えています。

引佐北部小中学校は、小学校 1 年生から中学校 3 年生までが同じ施設で学ぶ施設一体型の小中学校です。1 年生からの 6 年間は地域のことを学び、中学 1 年生にあたる 7 年生から模擬会社「きりやま」へ入社します。社長、副社長、財務部長、5 人の課長、社員で構成され、「食物課」「生き物課」「農産物課」「エコ商品課」「広報課」の 5 課で運営しています。

「きりやま」では年 2 回販売会を実施しています。2 月 1 日には今年度 2 回目の販売会が実施され、中学生が、地域の特産物を生かして開発した商品などを販売しました。



「シイちゃんパウダー」で味付けしたおでんの販売が行われました。出汁の味が良く染み込んだおでんに、お客さんはみんな大満足でした。

子供たちと地域住民との協働

店頭には、自然薯、焼き芋、おでん、消臭剤、エコ石鹸や、椎茸・鯉節・昆布をパウダー状にした出汁粉「シイちゃんパウダー」など多くの商品が並べられ、地域の方など多くのお客さんと賑わいました。

自然薯や椎茸の栽培では、地域の方からも指導を受けるなど、「きりやま」を通して子供たちは、地域の産業等を学んでいます。

商品を売る時には積極的にコミュニケーションをとり、お客さんからの質問にも丁寧に対応して、商品の作り方などを説明していました。

販売会終了後は、「夏から準備してきたものが完売してよかった、多くのお客さんが来てくれてよかった」という声とともに「商品の配置の工夫により、お客さんがもっと商品を見やすくなるのではないかと」いった反省の声も聞かれました。次回の夏の販売会が楽しみです。(大石)



自分たちが作った商品を説明しながら、一生懸命販売をしていました。売上げは、地域の環境保全にも役立てていくそうです。

■ 地域における人づくり実践事例

人づくり推進員が連携して人づくり地域懇談会を行いました

人づくり推進員（東伊豆町）

柿沼 悠子 人づくり推進員

藤邊 久美 人づくり推進員



東伊豆町立熱川幼稚園



柿沼推進員は普段、青色防犯パトロールも行っています。

人づくり推進員の連携による懇談会

人づくり地域懇談会は、県内各地域の幼稚園や小学校を中心に開催され、人づくり推進員が、子育てや人づくりの助言等を行っています。今回は、東伊豆町立熱川幼稚園で行われた懇談会の様子を紹介します。

熱川幼稚園では、東伊豆町の推進員である柿沼悠子さんと藤邊久美さんの2人を講師に招き、子育てで困っていることや子育てで大切にしていることをテーマとして、年少の保護者を対象に懇談会が行われました。熱川幼稚園では、毎年人づくり推進員を招き懇談会を行っています。

今回の懇談会では、参加者が14名と少人数だったため、ひとりひとりの悩みに対し2人の推進員から丁寧なアドバイスがありました。保護者の悩みに対するアドバイスをいくつか紹介したいと思います。

「子供が、幼稚園での出来事を話してくれない」という悩みには、子供にも個性があるのでゆっくりと見守ってほしいというお話がありました。

「子供の偏食がひどい」という悩みには、親の気持ちを子供に合わせ、親が悩みすぎず大らかな気持ちでいてほしいというお話がありました。

「親の思いが強すぎるのか子供が神経質になっているようだ」という悩みには、親が子を思う気持ちは必ず子供に伝わっている、親は自分を責めないようにしてほしいというお話がありました。

また、「子供が外で遊ばない、競争心がない」という悩みには、今の子がその子の全てではない、興味があることをやるのが良いのでは、というお話がありました。

交流しながら子育ての相談ができる場所

懇談会では、保護者の皆さんが子供と真剣に向き合っている姿が見られました。推進員からは、子育てを頑張れば頑張るほど、うまくいかないとき、親は自分を責めてしまう。どうか自分を責めないでほしいというお話がありました。

保護者の皆さんからは、「絵本を読むことで親子のコミュニケーションをとるようにしている」、「下の子が産まれたが、下の子にかかりっきりにならないよう上の子に対してのスキンシップも大切にしている」、などといった普段大切にしていることについても意見が出されました。

現在は、核家族化や少子化等により身近に相談できる人が少なくなっています。また、インターネット等により人に会うことなく悩みを解決することも多くなっているかもしれません。しかし、時には人づくり地域懇談会で、推進員から直接アドバイスをもらったり、母親同士で交流したりしてみてもいかがでしょうか。（大石）



保護者の悩みにアドバイスをする柿沼推進員(左)と藤邊推進員(右)。幅広い悩みにも、自身の子育て経験などからの確かなアドバイスをしているのが印象的でした。



保護者の皆さんは、推進員からのアドバイスを真剣に聞いていました。また、懇談会は母親同士の交流の場にもなっています。

■ 県・市町の取組紹介

みんながつながる家庭教育

静岡県家庭教育支援員 フォローアップ研修会

静岡県教育委員会社会教育課

問合せ ☎ 054-221-3115

「集い つながり 学ぶ」 みんながつながる家庭教育

静岡県家庭教育支援員フォローアップ研修会

「早寝早起き朝ごはん」フォーラム in ぶじのくに

近年、子供たちの生活習慣の乱れが学習意欲、体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。

家庭における食事、睡眠などの乱れを、個々の家庭や子供のみの問題として見過ごすことなく、社会全体の問題としてとらえ、子供たちの基本的な生活習慣を確立させ、生活リズムの向上を図るための取組を推進していくことが必要です。

本フォーラムをきっかけに「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣の大切さについて改めて考えてみませんか。



基調講演講師 陰山英男氏

地域の実情に応じた家庭教育支援の取組

静岡県教育委員会社会教育課では、静岡県家庭教育支援員フォローアップ研修会として、平成30年12月18日に「早寝早起き朝ごはん」フォーラム in ぶじのくにを静岡県男女共同参画センターあざれあで開催し、静岡県家庭教育支援員や幼児教育関係者、学校教職員、市町行政職員等約150名が参加しました。

このフォーラムは、基本的な生活習慣について理解を深める、地域の実態に応じた家庭教育支援の取組や様々な工夫について理解を深める、地域における家庭教育支援の推進に向けて自身の役割を理解し今後への意欲を高めることを目的に行われました。

午前中は、三島市、島田市、掛川市の家庭教育支援チームによる事例発表が行われました。

三島市では、ランチミーティングやティーミーティングにより参加者が意見交換しやすい環境づくりを行っています。このような事例を市内校長会等で紹介することで、学校等での家庭教育講座の実施を推進しています。

島田市では、子育てに関することやしつけ等についての相談や家庭教育に関するサポートを行う「島田市ペアレントサポーター」を委嘱し、家庭教育に関する取組を行っています。ペアレントサポーターが親学講座や親を対象とした絵本講座などで活躍しています。



三島市、島田市、掛川市の家庭教育支援チームによる事例発表が行われました。発表後には数多くの質疑応答があり、参加者にはとても参考になりました。

掛川市では、「和やかな家庭で、学びの始まりは親のマネから、愛情いっぱい笑顔で、楽しもう!みんな子育てを!!」の頭文字をとった「和・学・愛・楽」を合言葉に子育て支援を行っています。家庭教育支援員が学校で開かれる懇談会の運営に積極的に関わることで、教員の負担軽減にもなっています。

早寝早起き朝ごはん

午後からは、まず、陰山英男氏による基調講演「子どもを伸ばす生活習慣とは」が行われました。勉強とは集中するトレーニングであり、集中を生むには心地よさが重要とのことでした。心地よさを生み出すには親など周りの人の笑顔が大切であり、子供を伸ばすためには、「心配するよりもお気楽に」というお話がありました。

基調講演の後は、グループに分かれて情報交換会が行われました。参加者は、普段の活動の成果や課題を出し合い、他地域の取組で今後参考にしたいことなどの情報交換を行いました。

今回の研修を生かし、今後も家庭教育支援員を中心に、各地域で地域の実情に合わせた家庭教育支援活動が展開され、「早寝早起き朝ごはん」といった生活習慣の大切さなどについて、社会全体で推進していけると良いと思います。



これまでの成果や課題、今後実践してみたい支援などについてグループに分かれ情報交換を行いました。

■ 県の取組紹介

地域ぐるみの教育を推進します

人づくり推進員 研修会



静岡県文化・観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

e-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



約60人の推進員、市町担当者が参加しました。



講師の渥美由喜氏
(内閣府地域働き方改革支援チーム委員)

ワークライフバランスの観点からの子育て支援

人づくり地域懇談会等で家庭や地域における子育てや人づくりについて助言等を行っている「人づくり推進員」と各市町の担当者が参加する研修会を、10月1日(月)に県庁で行いました。

まず初めに、講師に内閣府地域働き方改革支援チーム委員の渥美由喜氏をお招きし、「地域における子育て支援の意義」と題して講演が行われました。

ワークライフバランスの観点からの子育て支援については、ワークでもライフでも「良かった」作りが大切であるというお話がありました。

参加者からは、家族、地域で支え合っていくことに共感できた、親だけではなく地域皆のチームワークが大切などの感想が聞かれました。

地域ぐるみ・社会総がかりの子育て支援

講演後は、グループに分かれ意見交換を行いました。「地域が一丸となって子供を育てていく」「地域力がつけば子供も健全に育つ、社会総がかりの支援をしていく」「一人の力は微力でも、力を集めると色々な良さを発揮することができる」などの意見が出されました。



講演会の後には、子育て支援における地域の役割について、参加者による意見交換が行われました。参加者同士の情報交換が、今後の活動のヒントにもなっています。

人づくり地域懇談会のご案内

県では、原則無料で人づくり推進員を県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っています。平成12年から現在まで、幼稚園、小・中学校、公民館を中心に、4,600回以上開催してきました。「人づくり地域懇談会」では、家庭や地域における人づくりのヒントが詰まった「人づくりハンドブック」を使い、人づくりや子育てに関するアドバイスや、県の進める「人づくり」について説明します。家庭・学校・地域の人づくりや子育ての手助けができるように、参加者と一緒に考え、人づくりを推進しています。「人づくり地域懇談会」や「人づくりハンドブック」につきましては県総合教育課にお問い合わせください。



人づくり地域懇談会の様子



人づくりハンドブック

■編集・発行 静岡県 文化・観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

